

第 3 分科会

大学教育における AI の活用ならびにその弊害

分科会概要：

現在、第三次人工知能ブームといわれ、ついに一般の方にも AI の活用の機会が広がってきている。教育現場への浸透も他ではなく、学ぶ側にも学ばせる側にもその恩恵は計り知れない。一方で、メリットばかりではなく様々なデメリットが指摘されているのも現状である。

そこで本分科会では、ChatGPT をはじめとした AI の仕組みやできること、できないこと、対面講義やオンライン講義などでの AI の活用事例、教育支援や今後の大学教育、身につけるべき技量などを 3 名の先生方にご講演いただきます。その後、3 名の先生方にはパネラーになっていただき、対面でご参加の方々からのご質問にお答えする形で議論を深めたい。

<プログラム>

10 : 00 趣旨説明 同志社大学 理工学部 教授 土屋 誠司 氏

10 : 10 講演 1. 「イマドキの AI を使いこなすための知識と心構え」
大阪工業大学 情報科学部 教授 鈴木 基之 氏

10 : 40 講演 2. 「情報リテラシー科目における AI 構築課題の取り組み事例」
徳島大学 理工学研究部 准教授 松本 和幸 氏

11 : 10 講演 3. 「国内外における AI によるプログラミング教育支援」
立命館大学 情報理工学部 講師 榎原 絵里奈 氏

11 : 40 パネルディスカッション

12 : 00 終了